

平成 30 年度 施策評価表

施策	0202	小・中学校教育の充実	施策担当部等	教育委員会	教育政策監	丸山 克彦
			施策担当課等	学校教育課	課長	江浪 俊彦
施策の方針	心の教育や健康教育の充実を図りながら、生きる力を育む学校教育を推進する。また、信頼される学校づくりを目指し、学校評価の充実や教育活動の広報に努める。					

【DO（実施）】

基本計画における目標値

	指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H29年度	
				H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
①	小・中学校の標準学力の検査結果（市内平均値／全国平均値）	%	97.1	100 96.2	100 92.6	100	100	100	92.6%	92.6%
②	小学校の総合的な学習の時間に占める「ふるさと学習」の割合	%	27.0	35.0 34.6	35.0 50.3	35.0	35.0	35.0	143.7%	143.7%
③	中学校の総合的な学習の時間に占める「ふるさと学習」の割合	%	16.9	25.0 17.5	25.0 38.0	25.0	25.0	25.0	152.0%	152.0%
④	学校教育に対する保護者の満足度	%	88.0	90.0 83.0	90.0 82.3	90.0	90.0	90.0	91.4%	91.4%
⑤										

施策達成状況の説明

- ①について
 ・これまで4月実施だった検査を、平成29年度より12月実施に変更し、学力向上に向けた取組の検証・改善のサイクルの整理を行った。これにより、平成29年度から、小学校1～6年生、中学校1・2年生の国語と算数・数学、中学校1・2年生の英語での検査実施となった。実施学年の枠が変わったこと、小学校が検査の種類を変えたことから、前年度との比較はできないが、見直しを図った成果が今後表れてくることに期待したい。
- ②③について
 ・市の施策であることから、各学校において「ふるさと学習」としての取組が増えたことや、現在取り組んでいる内容の中で「ふるさと学習」と捉えることができるものをカウントしたことが、目標値を大きく上回ることに繋がった。
- ④について
 ・小学校84.1%、中学校78.5%であった。基準値を超えた学校は、21校中、小学校7校、中学校1校だった。

施策経費

(単位:千円)		H29年度 決算	H30年度 予算	H31年度 見込	特記事項
内訳	事業費	578,847	560,557	587,309	
	国庫支出金	6,216	7,255	7,206	
	県支出金	2,710	2,684	1,990	
	地方債	0	0	0	
	その他	9,350	11,533	11,978	
	一般財源	560,571	539,085	566,135	
	人件費	53,275	49,977	-	
	フルコスト	632,122	610,534	-	

施策の概要

020201	生きる力を育む学校教育の推進	時代のニーズに応じた豊かな学力と確かな育ちを保障し、生きる力を育むために、少人数指導、チームティーチング、ICT教育など、質の高い教育を実施します。また、ALT（外国語指導助手）を活用するなど、グローバル人材の育成に向けた英語教育を推進します。さらに、小・中学校教職員が連携を図り、学習指導や生徒指導を充実するとともに、小中連携教育や小中一貫教育の在り方について調査・研究を行います。
020202	心の教育の推進	創造力豊かで思いやりのある心を持った児童生徒を育むため、学校が家庭や地域社会との連携を図りつつ、道徳教育や人権教育、郷土教育などを実施します。
020203	健康教育の推進	体力の向上や心身の健康増進のため、体育科の学習を通じた児童生徒の基礎的な体力づくりや、運動能力の向上に努めます。また、食に関する正しい知識と望ましい食習慣が身につくよう、食育を推進します。
020204	信頼される学校づくり	小・中学校のホームページや学校だより等による教育活動の広報を強化するとともに、学校評価の充実を図り、特色のある学校づくりを目指します。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題	<p>小中学校の標準学力の検査結果については、小学校の全国平均が74.0に対し大村市が69.0、中学校は全国61.0に対し大村市55.4であった。学力検査の点数化は全国水準との比較を可能にしているが、授業改善や個々の課題克服の手立てとしての活用に重きを置いている。この検査から明らかになった成果と課題を各学校において分析し、陥没点については授業を通して重点的な指導を行い、併せてデジタル教科書や実物投影機のICT機器及び学習内容の定着や補充学習のためのeライブラリアドバンスの積極的活用を図るなど、授業改善の指導を継続して行っていく。</p> <p>保護者の満足度については、各小中学校において学校への信頼を高めなければならない。そのためにも保護者、地域の願いや実態を把握し、子どもが安全安心な学校生活を送られる教育環境づくりと適切な教育活動が必要であり、校長の学校経営方針のもと、学校組織を生かした教育活動の展開について引き続き指導を行っていく。</p>
------------------	--

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

<p>小・中学校の総合的な学習の時間に占める「ふるさと学習」の割合は目標値を達成しているため現状維持とし、今後は学力向上に傾注すること。</p> <p>これまで実施してきたICT機器を活用した教育の効果を検証すること。</p>

【ACTION (改善・改革)】

問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての方	<p>本市独自の学力調査及び全国学力学習状況調査、県学力調査を取り入れたPDCAサイクル改善検証サイクルの円滑な実行を図り、明らかになった成果と課題を各学校において分析し、陥没点については授業を通して重点的な指導を行い、併せてデジタル教科書や実物投影機のICT機器及び学習内容の定着や補充学習のためのeライブラリアドバンスの積極的活用を図るなど、授業改善の指導を継続して行っていく。</p>
--------------------------------------	---

平成31年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	H31年度見込	対象・事業概要など
		事業費 (千円)	
1 統合型校務支援システム構築事業	学校教育課	3,539	教職員の業務負担を軽減し、超過勤務の縮減を図るため、統合型校務支援システムを導入し、事務処理の効率化につなげる。
2			
3			
4			
5			
		3,539	